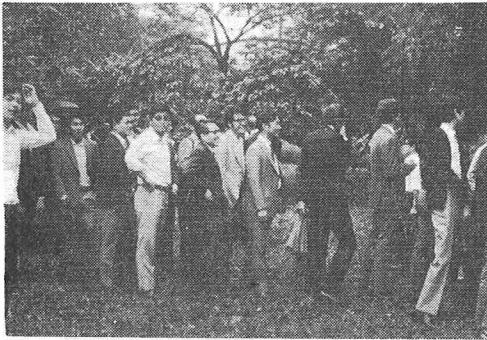


6 月理学会合日誌

- 11 日 (月) 14:00~16:50 理学系研究科委員会
13 日 (水) 15:00~17:00 人事委員会
15:00~17:30 教務委員会
15 日 (金) 16:00~17:00 主任会議
18 日 (月) 12:30~14:30 学部長と理職の定例交渉
20 日 (水) 14:00~18:30 教授会
25 日 (月) 13:20~17:45 学部長と学部自治会の会見

理学部職員学生懇親会の開催

6月6日(水)恒例のビア・パーティが小石川植物園で午後3時から開かれた。あいにくの雨模様であったが、外国人研究員などもふくめ、多数の教官・職員・学生が参集し、生ビールの列は、おひらきの5時頃までつづいた。戦時下、戦後の食糧難もしらない学生諸君が、青木昆陽先生の甘藷の碑を珍らしげにながめているのもユーモラスであった。



教授会メモ

6月20日(水) 定例教授会
理学部四号館会議室

議事に先だち上田一夫教授(動物)の“サケの廻遊”と題する講演が1時から行なわれ、活発な質疑をともしない2時15分終了した(広報次号に掲載予定)。ひきつづき新任の村上彰助教授(動物)が学部長から紹介された。議事は6時頃終了した。

議 事

1. 前回議事録の承認
2. 人事移動等の報告(別紙参照)
3. 研究生の期間延長について
研究生3名の期間延長を承認したあと部長より下

記の件の紹介があった: 従来日本学術振興会奨励研究員になった者も、研究生になると学費を支払っていたが、このたび新しく研究員の制度ができ、それに該当することになるので、学費は徴収しないことになった。この規則は、48年6月19日から施行し、同年4月1日から適用する。

4. 昭和48年度受託研究員の受入報告
5. 雑 件

イ. 教育学部より依頼の教科教育法非常勤講師選考委員会委員は、和田(昭)、下郡山両教授に依頼した。

ロ. 全学学生委員は、佐藤(正)委員は7月で交替するが、後任は学部長一任。

ハ. 東大百年記念事業の企画委員会が新設されることにより、理学部よりの委員は学部長一任。

ニ. 49年度の進学振分についての連絡事項。

ホ. 臨時カリキュラム委員会の件(霜田)

特に全学セミナーへの理学部教官の出講数を増やすことへの希望が表明された。

6. 教職免許教科に関する理学部、専門科目の単位決定について(竹内)

7. 人事委員会報告(寺山)

臨職問題および特別昇給の件の報告があった。

8. 教務委員会報告(飯田)

学部自治会のなかにてできたカリキュラム委員会との会見について報告があった。

9. 宇宙線観測所の件

宇宙線観測所運営委員会委員の佐々木(亘)教授より、最近の同所をめぐる情勢について報告があった。

10. 建物の件

学部長より、前回教授会よりの宿題であった化学教室の考え方がきまり、理学部としては新しく建てられる5号館には、数学、地質、鉱物が入り、化学は現在位置において改築をするという基本方針の説明があった。関係教室はいずれも学部長の提案に意義なく、理学部としては中央のマスター・プラン委員会での決定をまってこの方針でゆくことを了承した。

11. 会計委員会報告(田丸)

主として情報科学に関する学生経費について説明があった。

12. 総合計画委員会報告

49年度概算要求の基本方針およびその内容について学部長より説明があった。

予備交渉で合意された議題は下の如くである。

1. 地質鉱物学科実習費の問題
2. 学生カリキュラム委員会公認の件
3. 大学院問題
4. 一号館戸締りの件
5. 理学部新館の件

この他自治会は予備交渉で議題とされなかった次の二つの問題を議題にするように要求した。

筑波大学、山本岡本両氏の立入禁止以上の諸問題。理学部長の答弁は以下の如くであった。

1. 実習費の問題については自治会より概算要求にくみ入れることならびに6月の野外派遣には東京よりのバスチャーターを実現することを要求した。これに対し学部長は概算要求にはくみ入れること、バスチャーターについては目下努力中であること、しかし努力の内容は現在のところ明らかには出来ないむねの答弁があった。
2. 学生カリキュラム委員会については学部長より公認はしない、しかし相互の意志を十分よく通じあうことは望ましい。いわゆる自主ゼミの内で学科で単位としてみとめられているものに補助を望むならば、学科に申し出て、その学科の判断にゆだねるのがよいと思うむねの答弁があった。
3. 大学院問題については自治会側の申し入れは認めることが出来ないむね学部長よりの答弁があった。
4. 一号館の戸締りについては学部学生が8時以後まで居なければならぬ理由は少ないこと、自治会委員会には総計2ヶの鍵を学生委員の管理責任のもとに貸与出来るむね学部長よりの答弁があった。
5. 理学部新館については学部長より具体的かつ詳細な経過の説明が行なわれ、理学部としては新館には

数学教室地質学教室鉱物学教室を収容したい旨考えていることを明らかにした。

なお議題外の問題については、筑波大学については反対の声明を出す意志のないこと、また立入禁止については、この措置は総長の管理権にもとづいてとられたものであること、その事由についてはさらによく調べてからいずれ説明するむね学部長の答弁があった。

お し ら せ

昭和49年度

東京大学大学院理学系研究科修士課程学生募集要項 (抜 萃)

1. 出 願 期 間 8月20日(月)~9月1日(土)
2. 試 験 期 日 (1) 第1次試験(外国語、一般教育科目) 9月18日(火)
(2) 第2次試験(専門科目) 9月22日(土)~28日(金)
この期間内に各専門課程で定めた期日に実施する。
3. 合格者の発表 (1) 第1次試験 9月22日(土)
(2) 第2次試験 10月2日(火)

備 考

1. 出願資格、試験科目、収容予定人員また出願手続等詳細は、修士課程学生募集要項を参照のこと。
(各教室に配布済み)
2. 募集要項、入学願書等関係書類は、6月1日(金)から配布されますから、希望者は理学系研究科事務部(理学部大学院掛)に請求のこと。

昭和48年度科学研究費助成金採択一覧

研究種目	氏 名	研 究 題 目	昭和48年度配分額 千円
がん特別研究(1)	寺 山 宏	細胞膜における癌性変化の本質とその生物学的意義	6,000
自然災害 " (1)	永 田 武	地殻歪に伴う電磁気効果による地震予知の研究	1,200
" (2)	飯 島 東	地すべりの成因的分類	600
特 定 研 究(1)	門 司 正 三	植物による汚染環境の改善機能に関する基礎的研究	8,200
	浜 口 博	新銅元素の地表付近における行動に関する化学的研究	4,000
	宮 沢 辰 雄	タンパク質機能のモデル系の合成と構造解析	1,800
	藤 原 鎮 男	化学における情報処理	24,000
	岸 保 勘三郎	気象研究における情報処理	5,000

		高橋秀俊	感覚情報の脳内処理機序の研究	12,500
	(2)	木原太郎	研究用トーラス	19,000
特 別 研 究	(2)	和田昭允	ポリーおよびオリゴヌクレオチドの相互作用	2,090
"	継続	定永両一	相転移に伴う結晶成長	3,640
一 般 研 究	(A)	江上信雄	生殖細胞の放射線高感受性の解析	昭48 13,000 昭49 1,250
"	継続	宮沢辰雄	生物光化学反応系の構造化学	6,070
		飯野徹雄	細菌べん毛の遺伝学的研究	2,150
"	(B)	小平邦彦	解析多様体及び代数多様体の研究	昭48 2,500 昭49 2,000
		霜田光一	色素レーザーによる高分解能分光	6,500
		黒田晴雄	高分解能高感度 ESCA 分光器の開発	昭48 3,300 昭49 600
		稲本直樹	双極性有機リン化合物の反応に関する研究	昭48 4,400 昭49 1,500
		斎藤信房	メスバウアー分光法による無機化学反応の研究	昭48 6,400 昭49 1,600
		上田一夫	サケ類母川回帰の感覚生理学研究	昭48 2,000 昭49 1,000
		岡田吉美	ウイルス粒子形態形成反応の分子生物学的研究	昭48 5,100 昭49 3,000
一 般 研 究	(B)	中川一朗	遷移金属を含む結晶の格子振動と結合性に関する分光学的研究	昭48 6,300 昭49 2,800 昭48.4.1 東北大
"	継続	鈴木秀次	量子固体の塑性変形	500
		徳丸克己	光一重項増感反応による遊離基発生の研究	450
		小林英司	視床下部脳下垂体情報伝達系の研究	2,880
		飯島東	本邦新生代の火山岩、火砕岩およびそれに伴う鉱床中の微量元素の研究	500
		藤田宏	発展方程式とその近似解法	640
		海野和三郎	天体における磁場の形状と流体力学的構造	900
		天埜堯義	レーザー分光によるフリーラジカルの研究	900
		平川浩正	重力波と地震波の相関	1,360
		永田武	月岩石の磁気的性質	1,500
		小嶋稔	^{20}Ar - ^{40}Ar 年代測定に基づいた海底地殻年代の推定	800
		佐藤良輔	Near-field に於ける地震波の研究	8,000
一 般 研 究	(C)	吉田耕造	海流変動の力学的機構	1,000
		福島直	電離層および磁気圏にわたる三次元電流分布の研究	1,500
		朽津耕三	準安定励起原子と気体分子の衝突による動的過程の研究	1,100
		脇田宏	揮発性微量元素の地球化学的研究	1,060
		村田紀夫	光合成初期過程の蛍光および遅延発光の解析による研究	1,120
		水野丈夫	胚器官分化における組織間情報伝達機構の解明	1,170
		高橋景一	繊毛による刺激受容の機構	1,120
		花井哲郎	後期中性代以降の日本列島の古地理変化	1,140
		川島誠一郎	幼児期におけるステロイド処理とプロラクチン分泌	710
		定永両一	鉱物結晶の相転移の研究	930
		阪口豊	変動帯地形の比較研究	1,490

一般研究(D)	継続	竹内 均	測地学的方法による地球内部構造の研究	900
		堀 源一郎	非保存系摂動論の応用	300
		水島 公一	金属的伝導を示す非磁性遷移金属酸化物中の不純物磁気モーメント	300
		藤井 直之	高温における微小造岩鉱物の熱定数の測定	350
		金田 栄祐	昼測地磁気中性点下におけるオーロラ嵐発生条件の研究	300
		原田 一誠	分子結晶の振動スペクトルの解析による分子間相互作用の研究	320
		高橋 健治	微生物起源のリボスクレーパーゼおよび酸性プロテイナーゼの構造と機能の比較生化学的研究	380
		三好 泰博	光形態形成反応におけるフィトクロムの作用機作と生体膜電位	350
		駒 嶺 穆	植物におけるカルス形式の代謝生理学的研究	260
		和田 正三	ハウラインダ原系体細胞における分裂方向の制御機構について	270
		館 鄰	脱落膜腫形成誘発に対するネズミ子宮内膜に感受性とホルモン依存性子宮内DNA合成との関連について	270
		佐藤 正	地質構造生成時の物理条件推定に関する研究	360
		平井 直樹	培養細胞の雑種形成による霊長類の染色体研究	昭48.7.1 260 科学技術庁放射線 医学総合研究所
		杉村 新	羽越地域の活褶曲	300
奨励研究(A)		榎本 彦衛	置換群の原始拡大に関する研究	380
		福原 真二	四次元多様体の位相的特質	300
		水谷 仁	超高压下での弾性波の速度の測定	350
		山本 学	炭素-炭素単結合の回転阻害に由来する異性体の単離	280
		森山 祥彦	トリテルペンの転位反応の研究	昭48.7.1 280 在外研究フランス
		今村 峯雄	宇宙線生成放射性核種による一次宇宙線強度の経年変化に関する研究	270
		竹田 満洲雄	^{57}Co 標識化合物において EC 壊変により成生する ^{57}Fe の化学的状態のメスバウアー分光法による研究	昭48.9.1 280 在外研究英国
		宮本 健	白金-水素結合の性質	280
		渡部 徳子	γ 線照射による金属錯体の酸化還元反応機構の研究	昭48.3.31 270 財団法人分析化学 研究所
		小林 昭子	遷移金属ヒドリドならびにヒドロボレート錯体のX線による電子密度	280
		山下 貴司	海水産顕花植物の比較発生学	360
		土屋 禎三	纖毛反応のイオン機構	220
		馬場 昭次	纖毛運動の素過程に関する研究	220
		井内 一郎	ニジマスの発生過程における赤血球産生転換機構に関する研究〔I〕幼生型及び成体型ヘモグロビン又は赤血球膜の特異的抗体の作製	493
		小林 浩士	損傷により誘起される表皮細胞の分裂制御機構	260
		嶋 昭紘	動物肝臓細胞核 DNA とミトコンドリア DNA の放射線感受性の比較研究-特に動物のエイジによる変動について	300
		朝野 洋一	南西ドイツ農村部における小地域中心地の研究	300
試験研究(1)		森田 茂広	マイクロ秒領域での生物現象の解析法の開発	3,000

	古 谷 雅 樹	二波長測光法による顕微分光装置の開発		900
(2)	浅 田 敏	自動浮上方式に適した海底地震計本体の試作及び研究		1,850
	島 内 武 彦	He-CL レーザーラマン分光計の試作研究		1,600
総 合 研 究(A)	田 村 一 郎	多様体の位相幾何学的研究	昭48 昭49	2,390 2,400
	木 村 俊 房	解析学		3,220
	飯 田 修 一	遷移金属化合物とくに酸化物の電子構造と物性		2,800
	田 丸 謙 二	反応デザインの基礎	昭48 昭49 昭50	4,900 3,500 3,500
	浜 口 博	環境物質及び人体中微量元素のバックグラウンド存在量の放射化分析による測定		1,890
	山 崎 敬	東アジア産植物の系統分類学的研究		2,630
	小 林 英 司	情報伝達機構としての内分泌系の特性		2,780
	渡 辺 直 経	適応現象としての発育遅滞に関する研究		1,900
	埴 原 和 郎	人類集団の数値分類に関する基礎的研究		2,100
	江 上 信 雄	放射線障害の体液性因子による修飾に関する研究		2,000
	森 田 茂 広	光合成器官の生理機能とその制御機構に関する研究		2,500
	島 内 武 彦	生体物質系のラマン効果の研究		3,700
継 続	二 宮 敏 行	転位の動力学		2,500
	藤 井 忠 男	加速器による素粒子物理の実験研究	昭48 昭49	2,200 2,200
総 合 研 究(B)	立 見 辰 雄	国際地質対比計画 International Geological Correlation Programme IGCP 準備のための研究連絡		860

○理学部紀要最新号の内容紹介

[Section III Botany Vol. XI, Nos. 5~7]

T. Yamashita: Über die Embryo- und Wurzelentwicklung bei *Zostera Japonica* Aschers. et Graebn.
I. Hurusawa: Taxonomische Untersuchung der Gattung *Cotoneaster* (Rosaceen) auf Karpologischer Grundlage.

I. Furuhashi and M. Monsi: An Analytical Study on the Ecophysiological Adaptation of Soybean Plants to Limited Water Supply.

[Section IA Mathematics Vol. 20, No. 1]

Hikoe Enomoto: Characterization of families of finite permutation groups by the subdegrees. II.

Takashi Harase: On the index-period problem for algebraic curves and abelian varieties.

Hirofumi Matsue: Fiberings over a circle and its application.

Hikosaburo Kamatsu: Ultradistributions, I. Structure theorems and a characterization.

Hikosaburo Komatsu: On the regularity of hyperfunction solutions of linear ordinary differential equations with real analytic coefficients.

Young Sik Park and Mitsuo Morimoto: Fourier ultra-hyperfunction in the Euclidean n -space.

Masao Keike: Congruences between modular forms and functions and applications to the conjecture of Atkin.

Kisao Takeuchi: Subgroups of the modular group.

Teruo Ushijima: Correction to "On the generation and smoothness of semi-groups of linear operators" in this Journal Vol. 19, pp. 65~127.

[Section V Anthropology Vol. IV, Pt. 3]

Morihiko Okada: Effect of Muscle Length on Isometric Tension as Estimated in the Flexor and Extensor Muscles of the Elbow Joint.

Naotune Watanabe: Ash Deposit in Rock Shelters of Prehistoric Japan.

Masao Suzuki: Chronology of Prehistoric Human Activity in Kanto, Japan. Part I-Framework for Reconstructing Prehistoric Human Activity in Obsidian.

編集: [小 堀 巖 (地理) 理 2 号館 205 号室 内線 6449]
[清 水 忠 雄 (物理) 理 1 号館 372 号室 内線 2783]